

Chapter

第6章

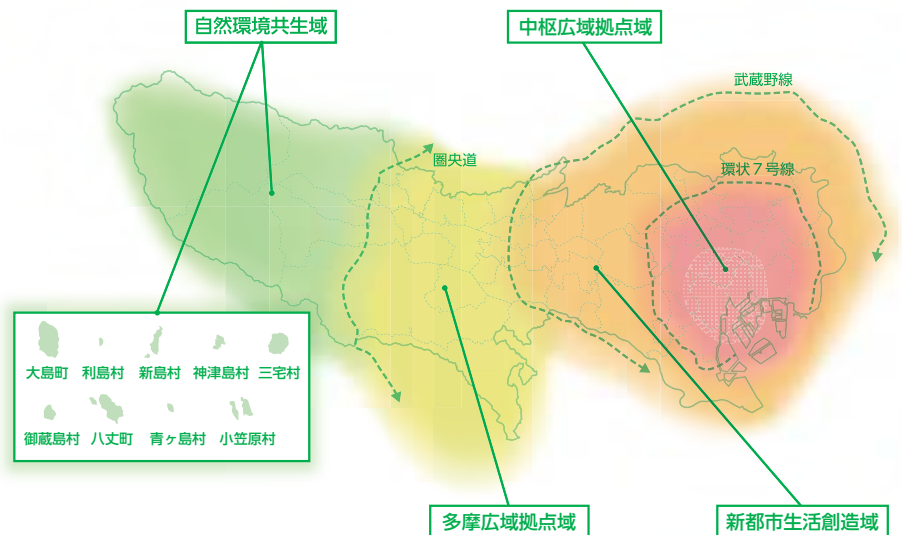
個別の拠点や
地域の将来像

Individual vision for each area



目指すべき新しい都市像の実現にあたっては、広域的な視点から、それぞれの拠点や地域が果たすべき役割を明確にするとともに、拠点や地域の個性を生かしながら、都民や民間事業者、区市町村などの様々な主体が連携して魅力的なまちづくりを進めることで、東京全体の活力を向上させていくことが必要です。

本章では、経済や産業を支える中枢機能が集積する拠点、人々の生活や交流の中心となる拠点、歴史的な街並みや芸術・文化の施設を有する地域、水辺や緑地、農地の広がる地域など、個別の拠点や地域について将来像の一端を示します。



中枢広域拠点域

おおむね環状7号線内側の区域

新都市生活創造域

おおむね環状7号線から
西側はJR武蔵野線まで、東側は都県境までの区域

多摩広域拠点域

おおむねJR武蔵野線から圏央道までの区域

自然環境共生域

おおむね圏央道の外側及び島しょ部の区域

※隣り合う地域区分の境界域は、相互の地域特性が緩やかに変化・融合しながら連続性を持っています。